

公共経済学（第5回）

担当 橋本 悟

（市場の失敗）

市場の失敗：市場メカニズムを通じては、パレート最適が満たされない状態のこと。

- 1 不完全競争市場（学者によっては、不完全競争市場を除く場合もある）
- 2 外部効果
- 3 費用逡減産業
- 4 公共財
- 5 情報の不完全性

（公共財：public goods）

公共財：私的財（通常の財）とは異なる、競合性と排除性を持つ財のこと。

1. **競合性がない（非競合性 Non rival）**：すべての人が同じ量だけ消費することができる（等量消費）

競合性：ある人が財を消費すると、他の人はその財を消費することができない性質のこと。

私的財



りんごはある人が食べると、他の人は食べられない（これを競合性という）

公共財



道路はある人が使っても、他の人も同時に使える（これを非競合性という）

2. 排除性がない (非排除性 Non excludable) : ただで消費することができる (フリーライダーの発生)
排除性 : 対価を支払わない人を排除することができる性質のこと。



りんごは市場で取引されるので、買えない人は消費できない (これを排除性という)

道路は税金で作るので、誰でも自由に使える (これを非排除性という)

フリーライダー (free rider) : 対価を払わずに消費すること。ただ乗りをすること。

公共財は市場の競争ではパレート最適が達成されない (市場の競争に任せると過少供給になる)。つまり、政府が市場のパレート最適な状態をチェックして供給しなければならない。

公共財は、市場の競争では絶対に効率的な資源配分 (パレート最適) は実現しない。したがって、必ず政府が市場の最適な量をチェックして供給しなければならない。

(公共財の種類)

非競争性と非排除性をもつ財を、特に純粹公共財と表現することもある。

	排除性なし	排除性あり
競争性なし	(純粹公共財) 一般道路、公園 警察、消防、国防 外交	(準公共財) 公共放送、教育
競争性あり	(準公共財) 混雑した道路、魚 山林の竹の子 マツタケ	(私的財) りんご、みかん 自動車、電気製品

(混雑現象)

一般道路は、基本的に自由に利用できる純粹公共財であるが、混雑して渋滞が起これば、その道路を利用しにくくなるため、競争性が生じる。このような現象を混雑現象という。

(公共財に準ずる財)

1. 準公共財 (quasi-public goods)

非競争性、非排除性のどちらか一方のみの性質をもつ財のこと

2. 価値財 (メリット財)

個人の最善の行動を実現するために、温情主義 (パターナリズム) に基づいて供給する財のこと。

政府が強制的に供給する財も含まれる。

例 教育、学校給食など

3. 地方公共財

便益が一定の地域に限定される財のこと。

例 公園、上下水道など

4. 共有地

非排除性はあるが非競争性はない財のこと。すべての人が自由に利用できるのが特徴である。

(例 自然環境など)

(共有地の悲劇)

共有地はすべての人が自由に使えるため、過剰に利用されたり乱暴に利用されたりすること。

例 海洋の魚 → 乱獲がおこる (最近では漁業権などで規制している)

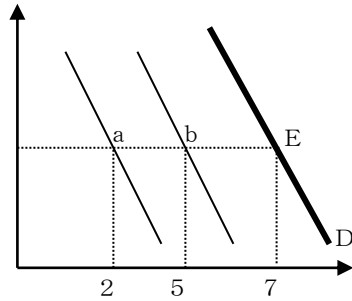
5. 自由財

供給量が多すぎて、ただで消費できる財のこと。 例 空気、水

(私的財と公共財の需要曲線)

1. 私的財の需要曲線

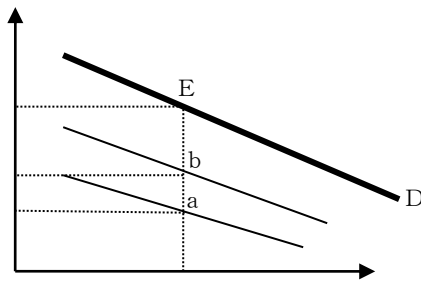
私的財は、競合性が存在するので、各個人の需要量を水平に加えて導出する。



私的財：各個人の需要量を水平に加える（**水平和**）

2. 公共財の需要曲線

公共財の場合は、縦軸に限界便益MB（公共財の限界効用）をとり、各個人の需要量を垂直に加えて導出する（競合性がないので垂直に加える）。



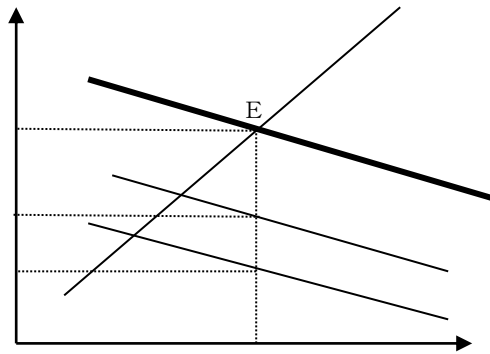
公共財：各個人の需要量を垂直に加える（**垂直和**）

限界便益（Marginal Benefit） → または限界評価ともいう

公共財を1単位消費することによって得られる便益（効用）のこと。

※公共財には非排除性があるため、市場価格が成立しない。そこで限界便益を価格とみなして需要曲線を導出する。

(1) 公共財のパレート最適条件 (市場競争では成立しないので、政府が強制的に実現させる)



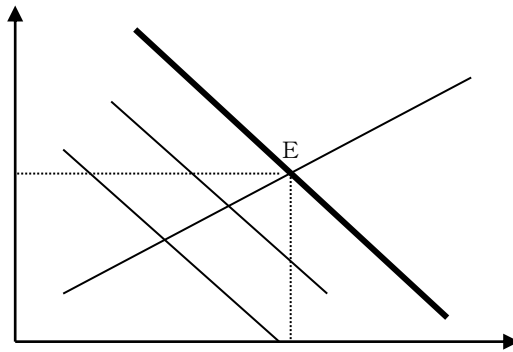
点Eでパレート最適になる

(1財のパレート最適条件) $P = MB_A + MB_B = MC$ MB : 限界便益 (公共財のMU)

(2財のパレート最適条件) $\frac{P_x}{P_y} = MR_{S_A} + MR_{S_B} = MR_T$

※この条件をサミュエルソンの条件ということもある。

(2) 完全競争市場で成立する私的財のパレート最適条件



点Eでパレート最適になる

(1財のパレート最適条件) $P = MU_A = MU_B = MC$

(2財のパレート最適条件) $\frac{P_x}{P_y} = MR S_A = MR S_B = MR T$

MR T : 限界変形率

(演習問題1)

純粋公共財に関する記述として、妥当ものを1つ選べ。

- 1 純粋公共財は、消費における競争性と排除性という2つの組み合わせをもった財であり、例として警察や消防がある。
- 2 純粋公共財は、大規模な施設を建設することを要するために、当初に巨額な費用が投入される財であり、例として鉄道や電力がある。
- 3 純粋公共財は、消費者主権に任せると供給が過小となるため、政府による供給がなされる財であり、例として学校給食や公営住宅がある。
- 4 純粋公共財は、外部経済効果をもたらすため、民間部門が補助金を受けて供給する財であり、例として公衆衛生や教育がある。
- 5 純粋公共財は、各人が等しい量を消費する財であり、例として外交や国防がある。

(演習問題2)

消費者が二人のみ存在する経済で、公共財に対する需要が

$$P_1 = 5 - \frac{D_1}{2}$$

$$P_2 = 10 - D_2 \quad (P : \text{価格、} D : \text{需要量})$$

でそれぞれ表されるとする。

公共財の限界費用が9で一定である場合の公共財の最適供給水準を求めよ。